

(伊良尾山遠望)

萩ジオパーク推協だより

2018年8月31日 No. 42

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510
TEL : 0838-21-7765 FAX : 0838-25-7767
e-mail : geo@cityhagi.lg.jp
HP : <http://www.cityhagi.lg.jp/site/hagigeo/>

発行 : 萩ジオパーク構想推進協議会
事務局 : 萩市ジオパーク推進課

Facebook: <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>

日本ジオパーク認定 9/20 (木) に決まる

いよいよ、萩ジオパークの日本ジオパークネットワーク加盟認定について、9月20日(木)に開かれる日本ジオパーク委員会で議論され、「認定」か「見送り」が決まります。

本年4月の加盟申請から、5月の幕張メッセでのプレゼンテーション、そして7月29日から4日間の現地審査を通じて、萩の大地や人とのつながりを理解し、それを楽しむたくさんの人々の熱意と活気、そして、今や萩のジオパーク活動が地域の発展に欠かせないものであるという心意気が、審査員をはじめ全国のジオパーク関係者に十分に伝わったものと思います。

20日当日は、委員会終了後に日本ジオパークネットワーク事務局から審査結果の連絡があります。その結果については、結果報告会を開催し、皆さんにお知らせする予定としています。



(4月17日にJGNに提出した加盟申請書)



(5月19日 千葉・幕張メッセでのプレゼンテーション)



(7月29日～8月1日の現地審査: 写真左は須佐ホルンフェルス、右は田床山山頂での説明の様子)

第1回 萩ジオガイド養成講座

8/19 (日)

8月19日(日)にジオガイド養成講座を開催しました。

萩ジオパーク構想としては、初めての本格的なガイド養成です。講師には、2月の萩ジオプランナー養成講座でもお世話になった菊間 彰氏(一般社団法人をかしや)をお招きしました。

テーマは、『知識を伝える』から『感動が伝わる』へ。知識のない一般観光客も楽しめ、地域の魅力と感動が伝わるガイドになることを目指します。

笠山椿群生林と萩城下町を舞台に、1日かけて様々なガイド手法を体験しました。椿群生林では、植物の葉を使った遊び「はっぱじゃんけん」やお題に出されたものと同じものを探してくる「そっくりさんをさがせ」など、自然の中で参加者が自らの五感を使って体験する手法を学びました。一方の城下町では、はがき大の黒いフレームを持って町を歩き、他の人が気がつかないような素敵な景色を見つけてくる「インスタ映えをさがせ!」や、この日の体験を通じて感じたことを家紋のようにデザインする「My家紋作り」など、歴史の町を参加者それぞれの視点から楽しむアクティビティを学びました。どれも、子どもから大人まで夢中になれる手法ばかり。最後には、笠山で自ら探した「安山岩」と同じ石が、実は城下町で大量に使われている、という気づきを導き、“場所と場所”、“大地と人”がつながるという感動を味わいました。

ジオガイド養成講座は10月20日、21日にも開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。これまで学んできた「知識」を最大限に生かすための「技術」を習得し、さらなる感動体験を提供しましょう。



(熱心に説明を聞く参加者)

萩ジオアカデミー特別編 リアル“地学基礎”ツアー開催

8/8 (水)

萩ジオアカデミーの特別編として、8月8日(水)に萩高校の生徒さんたちを対象にした地学巡検「リアル“地学基礎”ツアー」を開催しました。高校の授業に『地学基礎』がありますが、百聞は一見にしかず。現地に赴いて地球の営みを体感するツアーです。

萩・明倫学舎でガイダンスをした後、マイクロバスに乗り込んで出発しました。先ず向かったのは陶芸の村公園。高台から萩市街地を眺め、河川が生み出した大地について学びました。

続いて向かったのは笠山です。海岸の岩石を観察し、笠山は溶岩が流れ出してできたこと、それを人が利用した痕跡(石切り場)について実物に触れました。その後は山頂に場所を移動して火口の見学と噴火実験を行い、火山が造りあげた大地の姿を学びました。

昼食をはさんで午後に向かったのは、須佐湾周辺です。高山の周辺では、約1500万年前に日本海が形成されたときの海底にたまった砂や泥の地層を見ることができます。高山山頂に向かう道沿いで、礫→砂→泥と徐々に変化する地層を観察し、日本海がだんだんと深くなっていった歴史に触れました。最後には畳岩(須佐ホルンフェルス)を訪れ、海底の地層とそれを貫いたマグマの世界に触れ、かつての日本海で繰り広げられた活動を目の当たりにしました。



(実物を前に説明を聞く参加者)



(地層に直接触れて体感する参加者)

それぞれの場所を初めて訪れたという生徒さんも多く、各場所でたびたび歓声が上がっていました。地学は野外で実物に触れることが一番です。教室での授業を飛び出し、自分たちの生活する土地の成り立ちについて触れる良い機会になったのではないのでしょうか。

教育普及部会 夏季研修会を実施 8/6 (月)

朝から真夏の日差しが照りつける中、市内の小中学校の先生方が萩・明倫学舎の駐車場に集まりました。最初に教育普及部会長である中村教育長から、「暑い中での研修が意義あるものになるように」との激励の後、白井専門員から「学校でのジオパークの使い方」について、どんな効果があるのか？、どう使ったらいいのか？、という2つの視点からの説明がありました。



(古地図と今の町並みを比較する先生たち)

笠山に移動し、溶岩の流れが造るダイナミックな岩石の上に立ち、岩の中に見られる気泡の作った空間や、岩石の色の違いから読み取れること、人の暮らしに活かした石材採取の跡などを観察しました。また、笠山の噴火口ではマグマ噴出のモデル実験を体験しました。

城下町萩の町づくりでは、菊屋横町を歩き、古地図と現在の町並みとを比較しながら、阿武川が作った三角州を考察しました。

半日の研修でしたが、子どもたちに指導する立場での研修というよりも、むしろ一市民としてジオを理解することの大切さに気付く研修となりました。

ジオ・カメラ散歩



【geo とも須佐探訪】(8/18)
江戸時代の古地図を見ながら、2013年7月28日に発生下須佐の豪雨災害跡を歩き、被災された方の話も聞きました。
(写真提供：geo とも 中西)

萩ジオパーク構想コラボ企画として8月26日まで行われた萩八景遊覧船・日本海鑑賞コースにて。
海上から望む萩城石垣。



【お知らせ】 青少年のための科学の祭典 2018 萩大会

日時：9月30日(日) 10:00~15:00 会場：萩市立明倫小学校体育館

★今年も萩ジオパーク構想推進協議会では、ジオにまつわる体験工作のブースを出展します。小中学生の皆さんだけでなく、親子で一緒に楽しんでください。

参加料：無料 問合せ：萩市教育委員会学校教育課 (0838-25-3558)

平成30年度 萩市ジオパーク活動応援事業補助金交付団体が決定！

8月16日（木）に開催された審査会において、平成30年度の萩市ジオパーク活動応援事業補助金の交付団体が決定しました。この補助金は、萩市等が有する大地の遺産の保護、保全及び活用を目的としており、市民活動団体等が行うジオパーク活動を応援するために、活動団体に補助金を交付するものです。

(1団体につき上限額30万円 / 応募数3団体)

萩ジオパーク活動応援事業補助金の交付団体

- ① **豊ヶ淵交流事業実行委員会** 交付決定額：300,000円
事業名：龍の恵みを知り、未来に生かすプロジェクト
事業概要：龍が通った道の周遊ルートづくりや環境保全活動、ジオパーク関連商品開発等
- ② **佐々並カルデラを楽しむ会** 交付決定額：282,000円
事業名：佐々並コールドロン研究による大地と人とのつながり情報発信事業
事業概要：等高線模型の作成・活用展示、佐々並の地形・地質の勉強会開催等
- ③ **阿武・萩自然史研究会** 交付決定額：300,000円
事業名：子どもたちに萩の大地の魅力を伝えたいー見て、さわってわかる「萩の大地の成り立ち」キットー
事業概要：阿武火山群等の上空写真撮影、学校教材の作成・提供等

お菓子なジオパークめぐり

「貝がらもなか ～山→砂→貝→歌～
(山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク)

鳥取県の海岸地域では砂地の海に生息するイタヤガイという二枚貝が、古くから食用として親しまれてきました。この貝は10～20年に一度、大量発生し、その年の漁は大変な重労働。漁師たちは歌を歌いながら作業にあたりました。その歌が「貝殻節」です。中国山地の花崗岩類の風化で、大量の砂が供給されて砂浜海岸が発達する地域ならではの文化です。イタヤガイをかたどった「貝がらもなか」から、山陰海岸の採貝漁と中国山地の意外な関係に思いを馳せてはいかがでしょうか。



9月の予定

- 萩ジオアカデミー（第2回）9月15日（土）10：00～15：00 会場：萩・明倫学舎、笠山 内容：萩の大地の成り立ち②「阿武火山群①」（講師：角縁進・佐賀大学教授）参加費：1,000円（保険料・昼食代）定員：40名 申込み期限：9月10日（月）まで 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：事務局（萩市ジオパーク推進課）（0838-21-7765）※延期となった8月26日（日）分の講座を再調整したもの。
- geoとも（萩ジオ友の会）定例会「座学」9月15日（土）13：30～16：00 集合場所：萩・明倫学舎 内容：萩の大地に関わる雑談会 参加費：200円 主催：geoとも 問合せ：萩市ジオパーク推進課（0838-21-7765）
- 萩ジオパーク構想推進協議会臨時総会・日本ジオパーク加盟認定報告会 9月20日（木）16：30～17：00 場所：萩市役所大会議室 内容：日本ジオパーク加盟の認定可否を報告 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：事務局（萩市ジオパーク推進課）（0838-21-7765）
- 萩ジオカフェ9月20日（木）18：30～20：00 会場：萩・元気食堂 参加費：200円（飲み物は別途）主催：萩ジオパーク構想推進協議会 申込み：前日までに萩市ジオパーク推進課（0838-21-7765）※全国のジオパークからお菓子のお取り寄せ。火山のジオパーク「桜島錦江湾ジオパーク」（鹿児島県）と繋がります。
- 萩ジオアカデミー（第3回）9月29日（土）10：00～15：00 会場：須佐公民館、阿武町惣郷 内容：萩の大地の成り立ち③「日本海形成時のマグマの胎動」（講師：今岡照喜・山口大学名誉教授）参加費：1,000円（保険料・昼食代）定員：40名 申込み期限：9月3日（月）～21日（金）主催：萩ジオパーク構想推進協議会問合せ：事務局（萩市ジオパーク推進課）（0838-21-7765）
- 萩・地球を食べる食堂（第1回）9月30日（日）9：00～14：00 集合場所：玉江漁協前 内容：玉江浦の定置網船に乗り漁を見学、その後、とれたての魚を一流料理人による至極の逸品で味わい、大地と人が生み出す「おいしい」を体感します。参加費：3,500円（昼食代・保険料込み）定員：10名（先着順）申込み：9月10日（月）～21日（金） 主催：萩ジオパーク構想推進協議会 問合せ：事務局（萩市ジオパーク推進課）（0838-21-7765）

※ ●の行事に参加される場合は、必ず、萩ジオパーク構想推進協議会事務局（0838-21-7765）までご連絡ください。